



波行 波行 波行
 麻行 麻行 麻行
 良行 良行 良行

○中二段活より下二段活に轉る格

自 おのづから
 他 他
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

叶 淨 隨 添 指 並
 勇 痛 浮 埋 屈 准
 入 垂 沉 進 延 紛
 苦 染 滌 急 頼 嗜 急

○下二段活より四段活に轉る格

自 おのづから
 他 他
 加行 加行
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

聞 消 煖 見

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

頼 嗜 急

○也行より他の行に轉る格

自 おのづから
 他 他
 加行 加行
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

聞 消 煖 見

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

頼 嗜 急

○良行より他行四段小活に格

自 おのづから
 他 他
 加行 加行
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

聞 消 煖 見

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

頼 嗜 急

○良行より他行下二段活に格

自 おのづから
 他 他
 加行 加行
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

聞 消 煖 見

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

頼 嗜 急

○左行四段活に格

自 おのづから
 他 他
 加行 加行
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

聞 消 煖 見

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

頼 嗜 急

○左行四段活に格

自 おのづから
 他 他
 加行 加行
 波行二下 のび のびる
 波行二下 のび のびる

為

聞 消 煖 見

裂 繼 解
 碎 按 脱
 關 彈 閑
 仕 挫 燒
 切 掘 破
 乱 折 割

頼 嗜 急

すわり

佐行 四

成 待託

他考... 方... 活... 他... 准...
ていふ

多行 三

良

保過

波行 二

行

厭思

麻行 一

下

怪惜羨危

加行 一

行

知守

加行 一

下

見

麻行 二

二

着

波行 二

二

恋

也行 二

二

恨

麻行 二

二

耻

多行 二

二

耻

多行 二

二

下

奈行 二

二

捨

麻行 二

二

寝

良行 二

二

誑

加行 二

二

志

加行 二

同行

清濁... 他

○活異... 自他の別... 同意... 詞

除 三

向

増

耀 三

越

増

混 三

清

街

流落 三

誤

洩

伸 三

延

洩

忍 三

延

洩

添 三

廻

洩

黒 三

動

洩

隠 三

觸

洩

恐 三

憊

洩

潤 三

撰

洩

交 三

撰

結

澄 三

住

洩

座 三

座

洩

掃 三

被

洩

延 三

述

洩

給 三

給

洩

言語の活用ハ天然... 流通... 廣... 中二段... 下二段... 活... 風の吹... 根... 活... 他... 准...

活異なり自他の別をく同意なり

除 ヨキヨク 加行四段 向 ムキムク 加行四段 増 マシマス 佐行四段

耀 カビキカヨク 加行四段 越 コレコス 佐行四段 洩 モリモル 良行四段

混 マゼマスル 左行下段 清 ヒヂヒツ 多行四段 街 テラヒテラス 波行四段

流落 サスラヘ サスラフ 波行下二段 誤 アヤチアヤマル 多行四段 肖 アエアナル 也行下二段

伸 ノバレノバス 左行下二段 延 ノビノブル 波行中二段 洩 モリモル 同行下二段

忍 シノビレノブル 学 マナビマナブ 波行四段 垂 タレタル 洩 モリモル 同行下二段

添 ツヒソフ 傳 ツタヒツタフ 廻 マヒマフ 波行四段 悔 クイケル 也行下二段

黒 クロメクロムル 動 トヨモトヨムル 和 ナゴメナゴムル 麻行下二段

隠 カクレカクル 觸 フレフル 忘 ワスリワスル 良行四段

恐 オツリオソル 良行四段 憐 オビヤカシ オビヤス 如の二つをさうするの意あり

潤 ウルヒウルフ 波行四段 撰 エラレエラレ エラレエラレ 下を挙ぐる詞を指す

交 マゼリマゼル 良行四段 結 ムスボレ ムスボル 良行下二段

○語同く然れど活異なれん意も異ある詞

左行 澄 スマシ 麻行四段 住 スマセ 麻行四段

同 座 イマス 他自らイマス

波行 俥 レノビ 中二段 忍 レノビ 心中よりイマス

同 掃 ハラヒ 下二段 被 ハラヘ 古く四段といふ

波行 延 ノビル 下二段 述 ル 迷演の意あり

中二 給 タミヒ 他自らイマス

波行 給 タミヒ 四段 同 給 タミヒ 敬上をいふ

言語の活用ハ天然の流通よりあつて廣く

為る轉変のきりあつて自然の活用と人為の法則と

盡く究むるに本末をわけて其規則ありて

活るに其規則ありて其規則ありて其規則ありて

とあつて自然の活用と人為の法則と

ゆゑに先達のいふ如く例格

トも如く初學の人々

月舎主人誌



